



# 「ことばの教室」って？

①ことばの発達が遅い、②発音が不明瞭、  
③流暢に話せない などのこども達を支える為に  
支援拠点学校に、「幼児ことばの教室」（就学  
前児）、「通級指導教室（言語）」（学童  
児）が設置されています。この教室を、「ことば  
の教室」と呼んでいます。

浜松市にはどのくらいある？  
浜松市には、小学校が97校あります。このうち  
10校に「ことばの教室」が設置されています。

担当する教諭は？  
浜松市教育委員会が選任した、ことばの教室  
担当の教諭が必要な指導を行います。しかし、  
言語障害が専門でない教諭が担当となることが  
あります。教諭は常に学びを重ねていますが、  
**専門的研修は少なく、専門的に学びたいと希  
望する教諭が多くいます。**



## ことばの教室担当教諭への 系統的な専門的研修を実施

静岡県内で唯一言語聴覚障害を研究し、  
言語聴覚障害を支援する専門職である言  
語聴覚士を養成する、聖隷クリストファー大  
学言語聴覚学科が系統的専門研修を企画  
し、ことばの教室担当の教諭に提供しました。



## 研修講師

遠藤重典氏  
(言語聴覚士：児童発達支援センターほう  
あんうみ、小田原市)  
・東京学芸大学大学院教育学研究科総合  
教育開発専攻教育カウンセリングコース修了  
(教育学修士)  
・発達障害児の言語・コミュニケーション指導  
が専門



## 研修内容

- 第1回：『子どもの言語・コミュニケーション  
の発達（1）』
- 第2回：『子どもの言語・コミュニケーション  
の発達（2）』
- 第3回：『言語発達障害の種類や様相』
- 第4回：『言語発達障害児の評価・  
支援（1）』
- 第5回：『言語発達障害児の評価・  
支援（2）』

浜松市教育委員会との共同活動で  
地域のこども達を支えます



研修会の様子



## 受講者への調査（研修前後）

- ①専門的研修が子どもの指導に必要である
- ②指導方法は、自身の指導方法に対することから、子どもにとって大切な指導方法を考えられるようになった
- ③指導する上で困ったときに、これまでは同僚の教諭に相談することや自身で解決することが多かったが、専門職や検討会で相談することにした
- ④指導上必要なこととして、全体的な発達を考えたしながら指導する大切さを研修を通じて理解した



## 研修後にことばの教室教諭が 考える、言語聴覚士/浜松市 教育委員会との共同活動

- ①ことばの教室への専門家の定期的訪問の実現
- ②専門的相談窓口の開設（相談センターの設置）
- ③医療と教育の連携
- ④定期的な事例検討会の開催
- ⑤専門研修の継続
- ⑥新任者の系統的初期研修の新設と継続
- ⑦教育分野で使用可能なスクリーニングテスト開発
- ⑧浜松市教育委員会が言語聴覚士を雇用



## この研究から得たもの

**専門的研修を通じて、教育専門職と共に地域のこども達を支えることができ、その継続が大切である**

研究者）  
柴本 勇※<sup>1)</sup>、今明 薫<sup>2)</sup>  
1) 聖隷クリストファー大学、2) 浜松市教育委員会

